

24. 慰問活動・手話ダンス指導

・手話ダンス講師派遣・テキスト作成

グループ名 手話ダンス・サンダー
代表者名 金子イシエ

活動の目的

「地域住民との交流の輪を広げよう」を掲げ、老若男女 障害の有無に関わらず「皆と手を取りあって共に生きる」を目的とする

- ・手話ダンス・手話ソングを通して、地域の人たちと交流し生きがい作り、仲間作りの支援を行う
- ・福祉施設の訪問を行い 手話ダンス・手話ソングによる介護支援活動を行う
- ・子ども達（幼稚園。小、中、高等学校）に手話ダンス・手話ソングの指導を行い総合学習の一環に繋げる
- ・地域活性化のための 各種イベント参加やセミナーを行う

活動概要

福祉施設・老健センター慰問

手話ダンスは 会員の生甲斐になっている 自分たちで楽しむだけでなく これを少しでも地域の人たちに還元したいの気持ちで慰問活動をしている

交流を兼ねた手話ダンスの指導（毎月1回～2回）

聴覚言語障害者老人ホーム・知的障害者施設

両施設は 手話ダンスの指導だけでなく 行事の際は会員が模擬店の手伝い その他サポートとして出向いている

学校・公民館への手話ダンスの講師派遣

指導のためのテキストを作成し 分かりやすく覚えられるような工夫をしている。

テキストの内容は 文章とイラストで説明（表現）しているので習った事が再確認できる。

その他、地域イベント参加

地域公民館の文化祭 博多どんたく 夏まつり その他

福祉施設・老健センターの慰問

・デイサービス（やすらぎ）



・老健センター（ふるさと）



地域のイベント参加



活動の様子

・ 言語聴覚障害者田尻苑の生け花指導

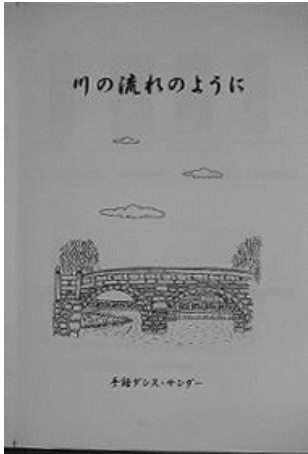


・ 手話勉強会昼の部（聾啞者を囲んで）



テキスト作成

・川の流れるように



・手紙 (アンジエラ・アキ)



・花 (仲孝介)



・その他



決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	100,000-
支出	テキスト作成用紙代	32,527
	テキスト作成インク代	44,500
	MDラジカセ	35,800
	合計	112,827